

セキュリティ理解度チェック WG

WG リーダー トレンドマイクロ株式会社 小屋 晋吾

セキュリティ理解度チェック WG は、経済産業省委託事業としてスタートした「理解度チェックサイト」の開発・運営をするために2006年に発足しました。

現在はJNSAのサイトとして運営し、外部へ無償・有償のサービスとして提供しています。

■ 理解度チェックサイト

企業・団体等の組織におけるIT利用者を対象として、基礎的な情報セキュリティ知識の理解度をセルフチェックできるサイトを構築し、情報セキュリティの普及啓発を行うために開発されました。

サイトは、無償で利用できる機能と、「プレミアム版」と呼ばれる有償で利用できる機能を持っており、販売代理店を通じて一般に販売されています。

販売代理店からはこのサイトを「ツール」として利用し、その後のセキュリティコンサルや、製品導入、本格的な教育を行うためのアセスメントに有効に利用しているという声が聞かれます。



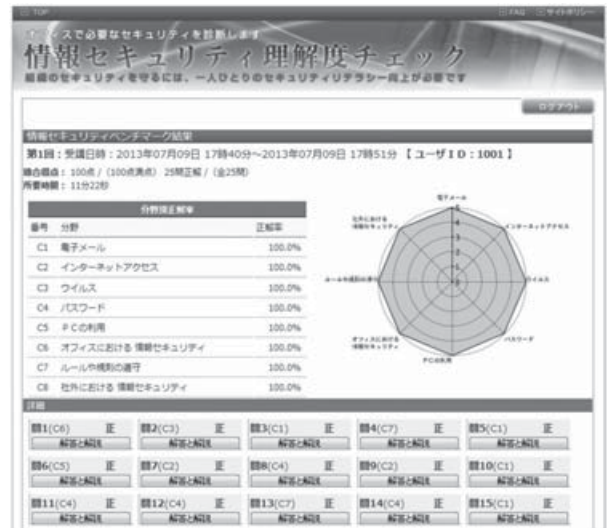
- このサイトで出題される問題は
- ・電子メールの知識と利用法
 - ・インターネットの利用法と注意点

- ・ウイルスの知識と対処方法
- ・パスワードの知識と管理
- ・PCの利用上の注意点
- ・オフィスにおける情報セキュリティ
- ・ルールや規則の順守
- ・社外における情報セキュリティ

の8つのカテゴリーに分けられており、一回の受講で25問の問題が出題されます。

二回目以降は、出題パターンも変わるため、繰り返しの受講で知識の底上げを行う事も可能になっています。

無償版であっても管理者はユーザーの受講結果を把握でき、同業種企業との比較などが行えます。



有償提供の「プレミアム版」では、さらに独自問題の追加や、管理者による出題問題の選択、受講者の回答内容などの確認ができるため、その後のセキュリティ教育をより具体的に実施できるようになります。

無償版、「プレミアム版」合わせた総受講回数は既に10万回を超え、多くの方に利用されるサイトとなりました。

■ WG の活動

WG では主に以下の活動を行います。

- ・問題作成・メンテナンス
- ・販売代理店開拓
- ・理解度チェックサイト PR 活動

■ 問題作成・メンテナンス活動

日々目まぐるしく変わる情報セキュリティの世界では、理解度をチェックするためにも問題の鮮度が重要になります。WG メンバーは定期的に新しい問題を作成したり、以前の問題を修正したりする必要があります。

理解度チェックサイトの問題は比較的反復性の低い方でも問題内容が理解できるよう、またいろいろなセキュリティポリシーの企業でも違和感がないよう配慮して作る必要があります。

メンバー曰く、「回答選択肢の4つめが思い浮かない・・・」という感じです。

■ 販売代理店開拓活動

現在6社の会員が代理店として「プレミアム版」の販売が行われています。

今年はもう少し販売店を増やし、販売量を増やしていきたいと考えています。

なお、9月までに販売店になっていただくと社内使用特典や、代理店登録費用が初年度無料になるキャンペーンを実施中です。

■ 理解度チェックサイト PR 活動

せっかくのメンバーの血と汗と涙の結晶の「理解度チェックサイト」。「プレミアム版」のみならず、無償版もさらに多くの方に使っていただき、日本の企業のセキュリティリテラシー向上に寄与したいと考えています。

エンドユーザー向けセミナーやJNSAのアクティビ

ティへの相乗りなど、低コストマーケティングで効果を上げていきたいと思っています。

■ 最後に

セキュリティ脅威の変遷から、ツールやサービスの単体導入では効果的なセキュリティシステムを維持する事が困難になってきました。体制、規程、対策技術、教育を合わせて提案していかなければならないと言われて暫く時間が経ちますが、多くの企業から、この「教育」の実施方法や成果の評価が困難との声が聞かれます。

我々のWGではその課題をエンドユーザー、販売店両方の立場から解決できるようにこれからも努力していきます。

皆様も是非本WGに参加いただき、一緒に回答選択肢で頭をひねってみませんか？

